

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	グローアップ 春日野道事業所		
○保護者評価実施期間	2026年1月31日		～ 2026年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	2026年2月14日		～ 2026年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもが安心して通所できる環境	こどもの特性に応じて活動やプログラムを準備、環境調整を行い、安心して通所することができるよう工夫している。活動時の様子は送迎の際に保護者様に共有をし、より安心して通所ができるよう努めている。	学校や併用先との連携を強化し、より安心して通所ができるよう工夫していきたい。
2	・子どもやご家族との信頼関係の構築	日々の活動を通してスモールステップで「できた」を自信にできるよう活動を考えている。送迎時や家族参加の行事などで積極的にコミュニケーションを取り、信頼関係を構築できるよう努めている。	子どもやご家族のみにとどまらず、学校や併用先、地域との信頼関係をより深めていきたい。
3	・異年齢集団での活動 ・多機能型事業所の強み	0歳～18歳まで通所できるため、環境変化が少なく安心して通所することができる。年齢の異なる子ども同士での関わりを通して、社会性や主体性を育むことができる。	事業所内での交流にとどまらず、地域との交流の場を検討していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他のこどもとの活動	交流場所や時間の確保が難しい。また、安全面への配慮が必要。	交流する場合の場所や時間の確保を検討する。また安全面の配慮に関しては環境整備の検討を試みる。
2	・家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会の開催	開催場所や時間の確保。	事業所開所日は利用児童がいるため、開催場所や時間の検討が必要。
3	・非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行った際の情報発信	非常災害に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練は行っているが、毎月のプログラム等でしかお知らせできていない。	ホームページやSNSの活用、お知らせを配布するなどし、いつどのような訓練を行っているかをお伝えする。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	グローアップ 春日野道事業所				公表日	2026年3月31日		
		利用児童数	16名		回収数	13名		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	3	0	2		日々整理整頓を心がけ、活動のスペースを十分に確保できるよう努める。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	1	0	2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	12	0	0	1		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	1	0	1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	1	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	1	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	2	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	0	0	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	0	0	2		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1	1	6		ご利用曜日によっては交流の機会がない場合もある為、今後の検討していきたい。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	1	1	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	0	2	3		家族支援プログラムや研修会等は開催できていない為、今後開催できるよう検討したい。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	13	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	2	1	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	2	1	0	夏祭りやクリスマス会は家族参加で楽しいです。	今後も家族参加型のプログラムを続け、保護者様やきょうだい同士の交流につなげていきたい。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	2	0	1	いつもありがとうございます。		
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	0	0	0			

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	0	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	0	0	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	1	0	4		各種訓練は定期的に行っているが、お伝えする機会が少ない為、ホームページやお知らせ等で周知する機会を増やす。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	0	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	0	0	3	そのような状況になったことが分らないが、日頃の様子から万が一の際は丁寧に対応していただけると思います。	万が一事故等が発生した場合は、どのような対応をさせていただくかを利用契約時等に丁寧にご説明していきたい。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12	1	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	1	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		グローアップ 春日野道事業所		公表日		2026年3月31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	整理整頓を心がけ、スペースの確保に努めている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	利用定員に対する配置基準に余裕をもって職員を配置するよう心がけている。またこどもの状態に応じて職員を増員して支援にあたる工夫をしている。	こどもの特性に対応できるよう、さらに職員を増員してもよいのではないかと。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	部屋に仕切りを作り、活動場所の明確化を図っている。またホワイトボードにタイムスケジュールを掲示、部屋やトイレなどには絵や文字で可視化を図り、環境調整に取り組んでいる。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	活動スペースを広く保つことができるよう整理整頓を心がけ、常に清潔であるよう清掃や換気に気をつけている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	4		部屋の広さや数の都合で個別の部屋や場所を準備することが難しい。クールダウンの方法を別に設けるなどして工夫していく必要がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	職員ミーティングや業務終了後の時間を通じて業務改善について話し合う機会を設けている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	年に1度、保護者様向けアンケートを実施する際に、アンケート結果をもとに職員でミーティングを行い、業務改善に努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		職員の意見を把握する機会を増やし、その内容を業務改善につなげられるよう工夫していきたい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2		現在第三者による外部評価を行っていない為、今後の検討課題とする。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	外部研修などの情報は職員間で共有し、積極的な参加を促している。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	支援プログラムを作成し、公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	定期的にあセスメントを行い、日々の活動の様子を保護者様と共有していく中で、具体的なニーズや課題を抽出するようにしている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	職員間でこども1人1人の情報を共有し、こどもがよりよい生活を送ることができるよう計画を作成している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	支援計画は職員間で共有し、計画に沿って支援を行うことができるよう心がけている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		標準化されたツールをより積極的に導入していく必要がある。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	児童発達管理責任者を中心に、職員や保護者様と項目ごとに具体的な支援内容を設定できるよう話し合いをしている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	職員間で話し合い、活動プログラムを作成している。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	毎月活動プログラムを検討している。	曜日により活動プログラムが類似する傾向があるため、今後の検討課題である。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	こどもの状況に応じて個別活動と集団活動に取り組みよう計画を作成し、その計画をもとに支援ができるようプログラム等を工夫している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	業務開始前にその日の支援の確認や情報共有をするよう心がけている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	業務終了後は支援中の情報を共有し、振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	支援終了後は必ず支援内容を記録し、その内容をもとに支援の検証・改善を行うことができるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	定期的にモニタリングを行い、その都度支援計画を見直している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	絵カードや写真を使用して、自己決定する力をより育てられるよう工夫している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	サービス担当者会議や児童事業所連絡会などには、児童発達管理責任者や支援員が積極的に参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	医療は協力機関との連携。また、保育園や学校の先生方との情報共有を積極的に行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	学校、併行利用先とは積極的に情報共有をするよう心がけている。連絡は直接または保護者様を通してお願いしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1		今後より多くの情報共有が必要である。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4		開所以来卒業生が多いため、今後必要に応じて支援内容等の情報を積極的に提供していきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3		今後、地域の児童発達支援センターとの連携や助言、研修を受ける機会を検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	地域の公園等で他のこどもと一緒に遊んだりお話をしたりして交流をしている。	保育所や認定子ども園、幼稚園等とは交流の機会を持つことができていない為、今後検討していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時やモニタリングを通してこどもの発達状況や課題について共通理解を持てるよう心がけている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		事業所での家族支援プログラムは現在行うことができていない為、今後の検討課題とする。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	利用契約時に文書と口頭で説明を行っている。また、質問があれば適宜お答えできるよう心がけている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	定期的に行っているモニタリングや日々の支援を通して、こどもや家族の意向を確認できるようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	支援内容をお伝えし、同意をいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	ご相談がある場合は送迎時や電話、メールを使ってお伺いし、必要があれば時間を設けるよう心がけている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	0	父母の会等は実施できていないが、保護者様やきょうだい同士で交流が持てるよう、家族参加が他のイベントを開催している。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	苦情窓口を設置し、苦情があった際は迅速かつ適切に対応ができる体制を整備している。	
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	ホームページやSNS等で活動の様子や行事予定を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報は必ず鍵付きの書庫で管理し、取り扱いには十分注意している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	口頭説明だけでなく、絵や写真を使用して説明するよう心がけている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		地域の施設とは不定期に交流があるが、事業所のイベントに招待する等は実施できていないため、今後の検討課題とする。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各マニュアルを策定し、職員に周知している。また発生を想定して訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	業務継続計画を策定し、必要な訓練を定期的に行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	利用契約時に服薬や発作等のこどもの状況について詳しく確認し、記録している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	利用契約時に食物アレルギーについて確認し、記録している。	保護者様からの情報をもとに対応している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	利用契約時に安全管理についてご説明をしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	6	0	ヒヤリハットが生じた場合は必ず事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	定期的に職員研修を設けている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	利用契約時に身体拘束について説明を行い、身体拘束の必要があれば組織的な決定・事前に十分な説明をする体制を整えている。		